

新年、明けましておめでとうございます。
吐く息も白くなり、寒さが一段と増しておりますが
皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？

■強くしなやかな国づくりへ

剛

此の20年の間に、阪神・淡路大震災・東日本大震災・九州北部豪雨・伊豆大島災害等の未曾有の災害が発生し、多くの人命や財産等が奪われました。昨年末に、強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する「国土強靱化基本法」が成立。安全・安心の社会の構築が望まれます。H/N

●発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

●発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

身近な環境を楽しむ

■郷土の永代なる歳時記を願って

最近では、お飾りを付けた車は初荷の車でも皆無なぐらいです。また、一般家庭の国旗も目にすることが無くなった景の一つでしょうか。時世なのでしょう。歳をとったのでしょうか。コマを回したり、凧上げしたりしている人(子供)は外にいません。一方、暮れのクリスマス電飾～街路のLED電飾など、年々賑やかさを増してきたように感じます。「簡略や省略化・便利な生活環境・豊かな意識」などの面での文化改革が進み、正月の風物・風情や地域の生活文化様式など風土の歳時記の希薄さや消失観を感じているのは、私だけなのでしょう。神社への初詣ぐらいは、永代なる歳時記として残してほしいものです。
さて、正月飾りを飾っておく期間の事を「松の内」といいます。一般的には、1日から7日(15日)までと言われていいます。お正月の飾りには、松竹梅の縁起木が使われ、松には【神を待つ】との意味が込められているようです。そこで、年明けになると家々に年神(神様)がやってくるので、その年神をお出迎えするために飾り付けを行った事に由来するようです。松の内は、神様が正月に家にいる期間とも云われます。A/T
(写真右上は門松、下は凧揚げ)

クマモンは
風揚げしたモン！

■情けは人のためならず

近年、地震や津波等の自然災害のリスクが高まっています。昨年、国土強靱化基本法が成立し、既存の建築・建設物の維持補修、救助や物流の長期途絶を避けるため代替ルートの確保などが盛り込まれています。この基本方針の中に、近隣住民が互いに助け合う「共助」が入っています。普段から地域交流を活性化し、災害時にはお互い様の意味合いである「情けは人のためならず」の精神で共に助け合うことが、しなやかな回復につながる第一歩になるのではと思います。K/S
(写真左は、熊本市で見かけた「どんどこや」)

穀

■ヒマラヤに抱かれし『ネパール』という国

●昨年12月に首都カトマンドウとポカラを旅行した。インドプレートに付加体が8848mのエレベストをはじめヒマラヤ山脈を作った。ポカラの老人は「小さい山に比べて雪の厚さや分布が少なくなった」と神の山マチャブチャレ(6993m)を見上げる。
●首都カトマンドウは、人口の爆発的増大に社会インフラが追いつかない。排ガス、埃もゴミも何のその、ヒマラヤ8850m程の高い愛があればゴミと牛と一緒にの河川敷でのデートも“ヘッチャラ”たくましい。無菌状態の日本は良い国と皆が言うが？
●アンナプルナ連峰に抱かれた人工湖の街ポカラは、昔ヒッピーの街であったが今はリゾート地。首都に比べてゴミ箱が設置され欧米人も多い街。日本人経営のホテルや店もある。アンナプルナ連峰を眺めながらの特大五右衛門風呂は、またまた格別である。化石が採れ完っている。アンモナイト・クロコダイルの卵等3000円程度だ。(写真左上と下) T/M

●カントリーパークにクマモン現る

Human Architectur

■それぞれの団塊スタイルを生きる

我が敬愛する団塊世代の兄は退職後は好きだったパチスロもスバツと止めて、現在は地域の自治会など世話役で奮闘中。そんな兄が新たな趣味で「木や石の彫刻」に挑戦しており、原木の桜・楠・銀杏等が持つ木肌や色・香り・木の温もりを感じながら小鳥やウミガメ等を製作しています。室内は、賑やかな小鳥たちのさえずりが聞こえそうで、まるで「里山のコンサート」が開催されているような雰囲気を感じさせます。地域のコミュニケーションにも一役買っており、その団塊スタイルには、私も今後地域とどのように向き合って楽しく過ごすべきか生き方を考えさせられるものがあります。B/I

身近な農を楽しむ

■正月の風情を
子供に伝えたい

お正月といえば、おせちに雑煮に初詣・・・おせちを美味しいと思う歳になったのか？日本の薄れつつある文化を少しでも子ども達に伝えたいと思うようになったのか？2年前からおせちを作り始めました。日本人が古くから新年を迎える元旦に沢山の思いや願い(縁起物)を詰めたおせち料理。正式には四段重、または五段重とされ、与の重は順番的にいくと「四の重」となり、四という数字は縁起が悪いことから「与の重」とされたそうです。そして五の重ですが五の重には何も詰めません。それは「まだまだ幸せを詰められますよ」と言う意味合いがあるそうです。一杯にしてしまったら、もうこれ以上幸せを詰めることができないということでしょうか？お正月には沢山の縁起物を準備して新年を迎える。昔からの日本人が過ごしてきたお正月の風情を大切にしたいと改めて感じました。T/B

●収穫野菜は、白菜・里芋・じゃが芋・黄金のゴマ・大根熱々の鍋料理にピッタリですよ。☆参加者で集合写真☆

平輪農園
25年12月
収穫は
楽しがい...

身近な土木文化を楽しむ

■石橋は何度でも復元可能な社会インフラ

明けましてお目出とうございます。皆さん、お正月はどのように過ごされましたか？私は、年始めに子ども達を連れて菊陽杉並木公園の運動広場へ遊びに行きました。その広場の片隅には、昔、井手の神社参道に架けられ、一時解体された入道水眼鏡橋が復元されていました。復元により一部新設されていますが、特徴である真円に近いアーチ部は昔と変わりがなく、池を跨ぐ姿は素晴らしい景観を演出していました。(上写真)また、物珍しように橋を渡る子供達の様子と親水公園のシンボルの存在の橋を見て、石工達により築き上げられた石橋の価値と技術を次世代に伝えていくことの必要性を強く感じました。T/M

▲ 菊陽町杉並木公園

▲ 抜き取ったコア

■コンクリートの延命化を考える

年始と言うことで、少し堅い話をしたいと思います。私が担当している業務は、昭和50年代の高度成長期に構築されてきた鉄筋コンクリート構造物である橋の調査で、延命措置を講じる対策の補修設計を行うものです。コンクリート橋は、生物や植物と違い、固くて頑丈なイメージですが、以外と年には勝てない物なのです。今回、その要因の一つを取り挙げて説明します。コンクリートの劣化要因の一つ中性化は、空気の二酸化炭素がコンクリート内に侵入し、セメントのアルカリ性能が低下し、PHI以下で鉄筋の腐食環境となる。そこで、PHI1を境に赤色に変色するフェノールフタレイン溶液の性質を利用し、中性化の影響範囲を調べ、コンクリートの健全度を評価するものです。上の写真は抜き取ったコアの写真です。左側の無色が表面側で5cm程度中性化が進んでいる証です。K/H

▲ 天草松島の初日

■農道は食をつなぎ地域をつなぎ
さらに人と人をつなぎ生命を育む

農業という言葉の響は、一面に広がる田畑と山裾に点在する集落、そして集落の中央部に象徴的な農村風景の鎮守の森を思い浮かべます。道路から一步農道沿いへ入ると野菜や花等が植えられ生活観が漂います。そんな暮らしを支える鹿本地域の農道の橋梁点検業務に関りました。
写真左は業務に従事した記念の暦ですが、ため池には冬鳥、熟れた柿や赤い実をつけたビナンカズラ等の樹木や植物。そして近くの公園には、農作業中のエークな格好をした案山子がお出迎え。
改めて、早く、安全に、大量に農産物を消費者へ運び、広域的・かつ効果的な農業経営に貢献できる農道の役割は大きいと感じました。H/N

▲ 鹿本地域の農道橋暦2014

断

■自然の恵みに感謝、
そして平穏な年に

私は時間があれば寒さに負けず、海・山・川へ行き心身共にリフレッシュするように心掛けております。さて、今回は自然と接する中で感じたことについて述べたいと思います。昨年は厳しい暑さが連日の様に続き、海の生物にも影響を与え、本来なら生息していないであろう場所に様々な生物を発見できました。右上写真に示すように夏場によく釣られるシイラという魚も本来なら岸際にはあまり回遊してきません。しかし、昨年は連日回遊して来て、地元の漁師の方の話だと海水温が例年より上昇したので回遊しているとのことでした。魚にとりて海水温が1℃変化すると人間の体感で4℃変化するのと同じくらいの変化だそうです。人間だけではなく様々な生物も近年の温暖化等に敏感に反応していると感じました。このまま温暖化が勧めば私たちの食卓に上がる魚も大きく変わってくるかもしれませんね・・・左写真は今年の上天草市松島の初日です。平穏な年を願う次第です。K/N

▲ 天草松島の初日

▲ 鹿本地域の農道橋暦2014

後記：熊本県内には、スケッチや写真に残したい風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見るとビューポイントや歴史の重みを感じる文化的景観などが資源が沢山残されています。上記O内の四文字「**剛穀果断**」は、年頭にあたって、物事に屈しないで、思い切って事に当たるという意味合いです。今後も皆さんへ地域の良さや文化などを紹介していきたいと考えています。この晴耕雨読は10名の投稿者の協力で作成しました。